

魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成28年度事業評価シート

施策(網掛け)及び 取組・事業	担当部署	事業の内容	計画における目標値										事業実施状況			H28評価・検証結果			備考
			H27		H28		H29		H30		H31		H28		課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等	子ども・子育て会議意見		
			見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保				確保	
2-1.幼児期の教育・保育													(単位:人) 確保 実績 実施状況						
1号認定 (3~5歳 学校教育のみ)	子ども課	保育園、幼稚園、認定こども園等において、就学前の幼児の保育、教育を実施する事業です。	203	295	196	240	191	240	185	240	180	240	255	62	子ども・子育て新制度により幼稚園教育の希望や保育の必要量・理由を調査する中で、利用調整を実施しました。 2号3号認定を受けている方には現況調査を実施しました。	希望するこども園・幼稚園へ入園を確保することができました。	28年度にはすもんこども園が市内初の認定こども園として開園しましたが、1号ニーズに対応するため、今後も既存の保育園の認定こども園への移行を検討します。		P57
2号認定 (3~5歳 保育の必要性あり)			584	988	567	958	550	958	533	958	514	958	918	635		希望する保育園・こども園へ入園を確保することができました。		P57	
3号認定 (0~2歳 保育の必要性あり)			367	342	370	382	372	382	373	382	374	382	380	369		年度途中入園の場合、第一希望の園に入園することができなかった場合は、他園を案内することで保育の確保をすることができました。		P57	
3-1.利用者支援事業													実施状況						
利用者支援事業	子ども課	子どもや保護者が保育園、幼稚園での教育・保育や放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所で支援を行う事業です。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	制度上の「利用者支援事業」は実施していないものの、子ども課、子育て支援センター、保育園・幼稚園では入所案内や子育てサービスの紹介はもろろんのこと、子育て世代の様々な悩み相談に対応しています。	今年度は園開放事業のPRを強化したことにより、保育園で未就園児の相談対応が可能なことをお知らせすることができました。	市の関係職員による子育てサービスの勉強会を行い、適切な相談支援の実施を目指します。		P59	
3-2.地域子育て支援拠点事業													(単位:利用延人数) 実績 実施状況						
地域子育て支援拠点事業	子ども課	子育て支援センター等で、子育て中の親子の交流や育児相談、子育て関連の情報提供等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図るとともに、地域の子育てサークルの活動を支援します。	17,000	17,000	16,000	16,000	15,000	15,000	14,000	14,000	13,000	13,000	15000 (見込み)	魚沼市子育て支援センターでは広場開放を月曜日から金曜日の9時から16時、土曜日は9時から11時半で実施。入広瀬保健センターで年10回の出張広場を実施。堀之内なかよし保育園での広場開放を月曜日から金曜日の9時から15時、すもんこども園で9時から12時で実施。 各保育園等で年1回から10回程度の園開放事業を実施。	児童数の減と未就園児保育の増などにより、利用者数は減っている。	このまま継続していく。		P59	
3-3.妊婦健診事業													(単位:人) 実績 実施状況						
妊婦健診事業	健康増進室	妊娠・出産期から子育てまでの途切れない支援に配慮することが重要であり、母子保健施策の推進の一環として、妊婦の健康診査にかかる費用を助成しています。	230	230	230	230	220	220	220	220	210	210	213人 (29.2.28現在) 年度末見込 230人	平成28年4月から検査項目が追加された14回分の受診票と併せて、子宮頸がん検査のクーポン券を交付し、妊婦健診の初回時に受診できるようにしている。	母子健康手帳交付時に全妊婦又はその家族と保健師が面談し、妊娠、出産の不安や心配事の軽減を図った。	安心して妊娠、出産ができるよう検討をしながら継続する。		P60	

施策(網掛け)及び 取組・事業	担当部署	事業の内容	計画における目標値										事業実施状況			H28評価・検証結果			備考
			H27		H28		H29		H30		H31		H28			課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等	子ども・子育て会議意見	
			見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	確保	実績	実施状況				
			見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	確保	実績	実施状況	課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等	子ども・子育て会議意見	
3-4.乳児家庭全戸訪問事業			(単位:人)										実績			実施状況			
乳児家庭全戸訪問事業	健康増進室	訪問スタッフ、保健師等が、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供等を行い、親子の心身の状況や養育環境を把握しています。支援が必要な家庭に対しては関係機関と連携し、母子の孤立を防ぎ、適切な支援につなげていきます。	230	230	220	220	220	220	210	210	200	200	H28.4~ H29.2.28 対象者 207人 実施数 206人(予定1人) 年度末見込 235人	生後4か月までの乳児全員について訪問を実施している。家庭を訪問することで、養育環境と家族状況が把握できる支援が必要な家庭は、関係機関と連携しながら対応している。	保健師又は育児経験の豊かな従事者が訪問することで、育児不安の相談ができ、安心して育児に臨めるよう取り組んだ。	従事者の研修会を実施し、スキルアップを図り内容を充実していく。		P61	
3-5.養育支援訪問事業			(単位:人)										実績			実施状況			
養育支援訪問事業	健康増進室	乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要な家庭に対して保健師、助産師、保育士等が関係機関と連携し、妊娠期から継続して必要な支援を行います。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	H28.4~ H29.2.28 対象者 4人 実施数 4人 年度末見込 5人	特に支援が必要な家庭は、保健師と要対協と一緒に家庭訪問を実施し、連携して継続的な支援に取り組んでいる。	妊娠届出場所が湯之谷庁舎へ集約されたことにより、ハイリスクケースとして早めに把握でき、乳児家庭訪問の実施とともに早期に介入できた。	今後も適切な支援ができるよう要対協等、関係機関と連携していく。		P62	
3-6.子育て短期支援事業			(単位:人)										実績			実施状況			
子育て短期支援事業	-	短期入所生活援助(ショートステイ)事業は、保護者の疾病や仕事等の事由により、児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等で一時的に保護するものです。 また、夜間看護等(トワイライトステイ)事業は、保護者が仕事等の理由により、平日の夜間又は休日に不在となり児童の養育が困難となった場合等に、児童を児童養護施設等で保護するものです。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現在実施していません。		受け入れ施設(児童養護施設)を新たに開設することは頻度を想定した場合に困難と考えます。	要保護児童の状況を勘案しながら、ファミリーサポートセンター事業等代替可能な資源も検討する必要があります。 (参考:現在、県内で実施しているところは新潟市のみ)		P63	
3-7.ファミリー・サポート・センター事業			(単位:人)										実績			実施状況			
依頼会員	子ども課 (子育て支援センター)	児童の預かり等の援助を受けることを希望する者(依頼会員)と援助を行うことを希望する者(提供会員)との相互援助活動に関する連絡・調整を実施しています。	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	7 (2月末現在)	登録者数は横ばい傾向。	各保育園の一時預かりの方が利用しやすいためか利用者数は伸び悩んでいる。	市報等での広報PRを強化する。	P63		
提供会員		10	10	11	11	11	11	12	12	13	13	10 (2月末現在)	登録者数は昨年より増えている。	利用者数が少ないと退会する会員が出てくる可能性がある。	保育園保育士OBなどへの勧誘、保育関係者の口コミによる声かけでの人材確保に努める。				
3-8.一時預かり事業			(単位:実人数・幼稚園のみ延人数)										実績			実施状況			
保育園	子ども課	保護者の社会参加や病氣、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、一時的に子どもを保育園等で預かる事業です。 ※ここでは、保育園での一時保育、幼稚園での在園児対象の預かり保育、ファミリー・サポート・センター(就学前児童対象分)、地域子育て拠点施設等での一時預かりが対象となっています。	720	720	655	655	609	609	559	559	523	523	401	緊急時等の子育て支援のため市内の全保育園・幼稚園で実施しています。	堀之内子育て支援センターで実施していた一時預かり終了ということも含め、より一層利用しやすいように、PRに努めました。また、公立においては時間単位の料金設定に変更しました。	園開放に参加している保護者からは事前に園との関係ができていたため利用しやすいという声がありました。今後も緊急時に利用しやすい総合的な体制づくりに努めます。	P64		
幼稚園(在園児対応)		7,105	7,105	6,860	6,860	6,685	6,685	6,475	6,475	6,300	6,300	早朝 890 延長 591							
ファミリー・サポート・センター事業における依頼会員	子ども課 (子育て支援センター)		5	5	6	6	8	8	8	8	8	8	1 (2月末現在)	利用回数は、1月末現在1人。各保育園で一時預かりの体制が整ったこともあり利用が減っている。	各保育園の一時預かりの方が利用しやすいためか利用者数は伸び悩んでいる。	市報等での広報PRを強化する。			

施策(網掛け)及び 取組・事業	担当部署	事業の内容	計画における目標値										事業実施状況		H28評価・検証結果			備考
			H27		H28		H29		H30		H31		H28		課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等	子ども・子育て会議意見	
			見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	見込	確保	確保	実績				
3-9.延長保育事業			(単位:実人数)										実績	実施状況				
延長保育事業	子ども課	保護者の就労形態の多様化、長時間の通勤等に伴う延長保育需要に対応するため、通常保育時間を超えて保育が必要な場合に保育を行う事業です。	431	431	422	422	413	413	404	404	395	395	565	市内全保育園で実施しています。公立では全園19時まで、小出保育園では22時まで、清心保育園では19時30分(土曜は19時)までそれぞれ開園しています。	公立保育園においては、延長保育料が発生する時間帯の見直しを行い、標準時間認定の方には延長保育料がかからないよう改正しました。	保護者の就労形態を勘案しながら事業を継続実施します。		P66
3-10.病児病後児保育事業			(単位:定員数)										実績	実施状況				
病児・病後児保育	子ども課 (子育て支援センター)	病児・病後児保育事業は、病気にかかっている子どもや回復しつつある子どもを病院等の医療機関や保育施設などで看護師等が一時的に預かるものです。	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	199 (2月末現在)	小出病院内で病児・病後児保育室を実施している。	小出病院に移転したことにより利用者数が増えた。	このまま継続する。		P66
3-11.放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)			(単位:登録児童数)										実績	実施状況				
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	子ども課	主に保護者が就労等により昼間は家庭にいない小学生に、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る事業です。	419	420	407	420	394	420	382	420	369	420	374	市内の各小学校区で児童クラブを実施し監護する者がいない児童を受け入れました。	伊米ヶ崎保育園内で実施している学童保育について、人数の増加に伴い、伊米ヶ崎放課後児童クラブとして、伊米ヶ崎小学校内に移転しました。また、入広瀬こどもの家で実施している学童保育について、人数の増加及び入広瀬幼稚園の休園に伴い、入広瀬放課後児童クラブとして、入広瀬幼稚園舎内に移転しました。平成29年4月に開校する湯之谷小学校内に新たな児童クラブを設置することとして準備を進めています。	待機児童が生じないよう事業を継続実施します。		P68